

## お薬引換番号表示サービスのご案内



調剤が完了した番号を表示する「お薬引換番号表示サービス」は、薬局内の電子掲示板だけでなく、院内各所に設置された電子掲示板や、お手持ちのスマートフォンからもご確認いただけます。

引換番号が表示されましたら、クリニック棟1階の薬局窓口でお薬をお受け取りください。

### お願い お薬の引換について

外来受診をされた皆さまには、薬局でのお薬の引換に長時間お待ちいただくことがあり、大変ご迷惑をおかけしております。受診時に処方されたお薬は、薬局の対応時間内であればいつでも引換が可能です。特に混雑を避けたい方や、お薬の引換までの時間を有効に使いたい方は、夕方や翌日午前の早い時間帯にお越しいただくと、比較的スムーズにお受け取りいただけます。ぜひご検討ください。

※お薬引換券は保険分と自費分に分けられ、科ごとに印刷されるため複数枚発行されることがあります。ご注意ください。



(亀田クリニック1階 自動再来受付機横 電子掲示板)

### 電子掲示板設置場所

- 亀田クリニック1階  
自動再来受付機横  
会計横
- 亀田クリニック2階  
上りエスカレーター横
- 亀田クリニック6階  
カフェテリアKai内
- Kタワー1階  
総合相談室受付横
- Kタワー13階  
レストラン亀楽亭

「LINE(亀田INFO)」や「ホームページ」からもご確認いただけます



※友だち登録は裏面をご確認ください。



## お薬手帳を忘れずに!!



お薬手帳は受診の際に診察券やマイナンバーカード(保険証)と一緒にご持参ください。

お薬手帳は、お薬の処方履歴や現在服用中のお薬を一目で確認できる便利な手帳です。亀田クリニック受診の際には、お薬手帳をご持参のうえ薬局窓口でご提示ください。紙のお薬手帳以外にもスマートフォンのアプリを利用したお薬手帳も便利です。ご活用ください。

### お薬手帳を携帯するメリット

新たに受診した診療科から薬を処方される際に、薬の重複を防ぎ副作用や飲み合わせリスクを減らすことができます。災害時・緊急時・旅行先で急病の際に、必要な薬を迅速に処方してもらえるなどのメリットがあります。

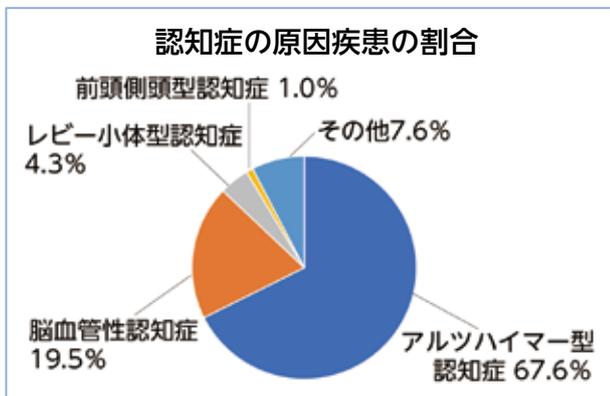
### 《お薬手帳の正しい使い方》

- お薬手帳はいつも携帯しましょう
- 病院・薬局・診療科で分けず1人1冊にまとめましょう
- 医師や薬剤師の説明は記録しましょう
- お薬が飲めなかった場合や服用により不具合が生じた場合は記録し、次回診察時に必ず医師に見せましょう
- 副作用・アレルギー歴・病歴を記録しましょう
- お薬が変更になったら、その理由を書いておきましょう
- 市販薬やサプリメントの記載も忘れずに



## 第2話 認知症の様々な原因疾患

認知症の原因疾患の中でもっとも多いのがアルツハイマー型認知症で、約2/3を占めます。次いで、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症の順です(図)。この4つの疾患は特徴が異なります。以下にそれぞれの疾患を簡単に解説します。



### 1. アルツハイマー型認知症

脳にアミロイドベータと呼ばれるたんぱく質が蓄積し、このたんぱく質が脳の神経細胞を破壊することで発症すると考えられています。初期症状として「物忘れ」が起こります。ずっと昔のことは覚えているけれども、つい最近のことを忘れる、短期記憶障害が特徴的です。時間の経過とともにゆっくりと症状が進行します。進行すると日時や場所の見当識障害や、見聞きした情報をうまく理解できない失語・失認が現れるようになります。外出した際に帰道がわからなくなり、迷子になるケースもあります。

最近アルツハイマー型認知症の進行を遅らせる効果があるアミロイドベータ抗体薬が使えるようになり

ました。この薬剤は2週間毎または4週間毎に点滴で投与します。



### 2. 脳血管性認知症

脳の血管障害(脳梗塞、脳出血)を原因とする認知症です。障害された脳の部位によって症状が異なります。記憶障害や運動障害、意欲の低下、感情のコントロールが効かなくなることがあり、手足の痺れや麻痺、嚥下障害がみられることもあります。脳血管性認知症は脳血管障害が再発するたびに急に症状が進行します。歩行障害などの運動障害を伴うことが多い認知症です。



### 3. レビー小体型認知症

脳に「レビー小体」と呼ばれる異常な構造物ができて、脳の神経細胞が損傷を受けることで発症する認知症です。幻覚が起きやすく、パーキンソン症状(身体の動きにくさや歩行障害)、睡眠時の大きな寝言や体動(レム睡眠行動異常と言います)、ぼーっとしている時とはっきりしている時との差が激しいことが症状の特徴です。初期にはもの忘れが目立たず、うつ状態を呈することもあります。



### 4. 前頭側頭型認知症

社会性や理性をつかさどる前頭葉、感情や記憶をつかさどる側頭葉という部位が何らかの原因で萎縮を起こし、正常に脳の機能が働かなくなることで発症します。周囲の状況にかかわらず自分の思ったように行動するなど、行動異常や人格変化が初期症状としてみられる症例や、言葉の意味がわからなくなる症例もあります。また、症状が進むと毎日同じ時間に同じ行動を繰り返したり、一日中落ち着かなく動き回ったりする一方、場合によっては活動量が低下し、すべてのことに無関心になるような症状が現れることもあります。

医療エッセイのバックナンバーはこちらからご覧いただけます。

<https://medical.kameda.com/general/about/magazine/index.html>



亀田  
INFO

●亀田総合病院公式LINE

## LINE公式アカウント「亀田INFO」

／亀田クリニック・亀田総合病院からの情報をお届けします／

- 診療担当表の確認
- お問い合わせ BOT(ロボット)
- 交通アクセスや駐車場情報
- お薬番号の確認
- 広報誌の閲覧 亀田ニュースバックナンバー
- 病院からのお知らせ配信(原則1日・15日)

友だち  
募集中



右記QRコードを読み取ってください



友だち追加を選んでください

